

# 保育所と小学校が連携した食育の実践

## Practice of dietary education that nursery and primary school in cooperation

曾我 郁恵<sup>1)</sup>・居原田 洋子<sup>2)</sup>・森本 恭子<sup>3)</sup>

Ikue SOGA, Yoko IHARADA, Kyoko MORIMOTO

### はじめに

平成17年6月の食育基本法の制定<sup>1)</sup>を期に、保育所における食育の役割は大きいものとなっている。食育に関わる法規、指針、ガイドラインは、現在までの10年間で整備され、食育が保育の一環として位置づけられた<sup>2)</sup>。

平成16年3月：「楽しく食べる子どもに～保育所における食育に関する指針～」の策定

平成17年6月：「食育基本法」の制定

平成20年3月：「保育所保育指針」の改定

平成23年3月：「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」の策定

平成24年3月：「保育所における食事の提供ガイドライン」の策定

### 目的

平成17年に食育基本法が制定され、さらに、平成20年3月には保育所保育指針の3度目の改定が行われ、その指針の中で、保育所は小学校と連携した食育の推進を求めている<sup>3)</sup>。

実際は、保育所で行う食育の内容と小学校低学年で行う食育の内容をみると、同じようなテーマで行われていることが多いのが実態である。

しかし、食育を行う原点に立ち返り、保育所での指導内容を踏まえ、小学校では食育計画を立案することが必要であり、ここに連携が求められている。

そこで、本研究では、保育所と小学校の食育担当者が連携した食育の指導項目や内容を共に考えることを目的とした。

### 方法

保育所と小学校の担当者が連携した食育を実践するための方法を考える場を提供し、共に考えるために、次のような方法で研究をすすめた。

＜参加者が行ったこと＞

◇保育所と小学校が連携していくための食育に関する指針の理解

◇連携を実践していくための食育に関する計画書の検討

＜自らが行ったこと＞

◇連携をすすめていくためのセミナーの開催

◇幼児・学童を対象とした学会での発表

◇雑誌『学校給食』への投稿

◇学会における自由集会

### I. セミナーの開催

保育所と小学校が連携した食育の実践をテーマに、セミナーを開催した。

＜セミナー実施までの経緯＞

1. 津山市保育園協議会にセミナー開催の目的説明

2. 津山市園長会での承認

3. セミナーの実施

◇対象者：津山市内の保育所（園）の調理担当者

◇実施日：平成26年11月29日

◇参加人数：12名

◇実施内容：①保育所と小学校が連携した食育実践の理解  
②献立計画から食育への展開

◇研究協力者：セミナー開催にあたり、津山市保育園協議会の協力を得た。

1 受付

2 開会

3 セミナー開催の趣旨説明

美作大学 助手 曾我 郁恵

4 講義 「保育所と小学校が連携した食育の実践」

淑徳大学栄養学科 教授 官原 公子

\*1 美作大学生活科学部 食物学科 助手・修士

\*2 美作大学短期大学部 幼児教育学科 准教授

\*3 美作大学生活科学部 食物学科 講師・修士

Research Associate, Dept. of Food Science, Mimasaka Univ., M.ed

Associate Professor, Dept. of Early Childhood Education, Mimasaka Junior College.

Lecturer, Dept. of Food Science, Mimasaka Univ., M.ed

保育所と小学校が連携した食育を実践することの必要性を解説した。

5 演習 「献立計画から食育への展開」

演習：指導計画書と教材作成

美作大学食物学科 講師 森本 恭子  
助手 曾我 郁恵

協力者 栄養教諭 原田 彩先生、間島 紗世子先生

発表 展開演習事例の発表 参加者

保育所と小学校が連携するためには、それぞれの食育の実態を知る必要があると考え、それぞれの食育実践に使用している指導計画書の説明を行った。その後、保育所の食育実践計画書を使用し、食育の展開を行った。

6 閉会

演習には、保育所の食育実践計画書を使用し、食育の展開を実施した。

| 実施日      | 実施場所 | 実施者   | 実施内容                                  |
|----------|------|-------|---------------------------------------|
| 4月22日(水) | 美作大学 | 森本 恭子 | 食育実践計画書の説明と、保育所の食育実践計画書を使用した食育の展開の実施。 |

  

| 実施日      | 実施場所 | 実施者   | 実施内容                                  |
|----------|------|-------|---------------------------------------|
| 4月22日(水) | 美作大学 | 森本 恭子 | 食育実践計画書の説明と、保育所の食育実践計画書を使用した食育の展開の実施。 |

  

| 実施日      | 実施場所 | 実施者   | 実施内容                                  |
|----------|------|-------|---------------------------------------|
| 4月22日(水) | 美作大学 | 森本 恭子 | 食育実践計画書の説明と、保育所の食育実践計画書を使用した食育の展開の実施。 |

写真は、実際に参加者が食育の展開を行っている様子です。



参加者の感想

- ◇保育園から小中学校への連携の大切さを改めて感じた。今後は、何らかの方法で情報交換ができるような場をもっと増やしていただけるとありがたい(公の場で)。
- ◇他園の食育の進め方や小学校の給食や考えなどを知ることができて、とても参考になった。連携することの大切さを改めて感じることでできる機会であった。またこのような機会があるとありがたいと思う。
- ◇小学校の栄養教諭の先生の貴重な話を伺えて、一貫した栄養(食育)指導の問題点や理想等の考えも以前より深めることができ、有意義な時間を過ごせた。

II. 雑誌「学校給食」への投稿

雑誌「学校給食」へ、小学校と保育所が連携した食育実践に関して、投稿した。



学校給食を軸に、保育所⇔小学校⇔中学校⇔高等学校をつなぐ食育を宮原公子先生に、栄養教諭による高等学校への食育アプローチを森本恭子先生に、保育所給食から食育へつなぐアプローチを私が担当し、投稿した。私が担当させていただいた保育所給食から食育へつなぐアプローチでは、保育所栄養士へのメッセージとして、学校給食との連携の必要性やメリットについて述べ、アプローチする機会としてセミナーを開催した内容を紹介した。

### Ⅲ. 学会における自由集会の開催

第 61 回日本栄養改善学会において、自由集会を開催した。

- ◇参加者：養護学校教員、小学校栄養教諭、大学教員
- ◇実施日：平成 26 年 8 月 20 日
- ◇テーマ：学校給食を軸にした保育所⇔小学校⇔中学校⇔高等学校の食育を考える
- ◇実施内容：①保育所、小学校、中学校、高等学校が連携した食育の必要性の理解  
②保育所、小学校の食育の実態報告  
③参加者との意見交換

開催者と参加者共に、連携の必要性を感じていた。しかし、それぞれの職場における連携以前の様々な問題点が浮き彫りとなり、実際には連携にまで及んでいないのが実態であった。

### 研究のまとめ

- ◇この研究を通して、小学校と保育所が連携した食育を実践することにより、連携の必要性を共有し、方向性の確認ができた。
- ◇食育の連携を行う上では、セミナーを手始めに連携していくことが効果的であった。
- ◇雑誌への投稿、学会における自由集会で、連携の必要性や方法に関して問題提起することができた。

### 今後の課題

学校は食に関する指導体制や栄養教諭制度ができ、食育が教育の一環として位置づけられている<sup>4)</sup>。しかし、保育所は私立が多いため、園単位で食育を実践されることが多く、どこに焦点をあてて連携を推進するかが課題となる。

### 謝辞

本研究にあたり、津山市保育園協議会の皆様、津山市内の保育所調理担当者の皆様、栄養教諭の原田 彩先生、間島 紗世子先生のご指導・ご協力に対して、深謝申し上げます。

### 参考文献

- 1) 食育基本法 内閣府 平成 17 年 6 月
- 2) 保育所における食事の提供ガイドライン 厚生労働省 平成 24 年 3 月
- 3) 保育所保育指針解説書 厚生労働省 平成 20 年 4 月
- 4) 栄養教諭制度 文部科学省 平成 17 年 4 月

